

子どものいのちに格好持ち込み

日本共産党 2・3月議会

子どもの医療費補助制度

ママ・パパ 愤る!



全国に例のない 新規開拓

新年度予算案に提案された子どもの医療費補助制度の見直しは、これまで未就学児（登達障がい児は小学2年まで）

のみ対象だった制度を、入院を中学3年生まで、通院を小学3年生まで拡大し、多くの子育て世帯の願いに応えるものとなりました。

ところが、通院の窓口負担に所得制限を導入し、現行の初診時500円を最大で4倍から6倍に負担を増やすことは見過せません。

本議会答弁で、新たに1万7千人の未就学児が負担増になる

ことがわかりました。その金額は1億8千万円です。さらに、窓口負担に所得制限を設けていく政令市は「（ど）こもない」という答弁に議場からどよめきが起きました。

大型事業にアクセル

一方、新年度予算の大きな特徴は、地方創生の名のもと「世界に誇れるまち広島」とともに「200万人広島都市構想」を進めようとしている点です。山口県の2市5町含む周辺23市町と連携協定を結び、中四国地方でローカル経済圏をつくり、交通、観光行政の中枢都市をすすめると言います。（4ページ参

照) その第一に、都市機能の充実・強化をかけ、大型開発事業推進にアクセラルを踏み込みました(表参照)。JR広島駅周辺開発に96億円を投入し、広島空港と広島駅を結ぶ総事業費1124億円の広島高速5号線の建設を進め、二葉山トンネル工事を着工しようとしています。さらに、アストラムラインを西広島駅まで延伸しようとしていますが総事業費は570億円。累積損失112億円、市への借入金323億円を抱える経営状況であり、全額税金で建設する計画です。中枢都市としての拠点性を高めるという理

由をつけて、不要不急の事業をどんどん推進するやり方を止めるべきです。

子どもの医療費には 出し済り

市が策定した「人口ビジョン」においても、少子化を克服するために、切れ目のない子育て支援が掲げられているにもかかわらず、1億8千円を出し済り子どものいのちに格差を持ち込むことは認められません。不要・不急の1葉山トンネルの着工には118億円も簡単に増やせるのになぜ、子どものために出せないのでしょうか。いまこそ税

真の子育て支援をもとめ 論戦をリード

小児科医から「市が提案し

た見直しでは医療費補助の意味がない」との声が届きました。新設される1000円、1500円の負担上限額よりも窓口で支払う金額が下回るケースが半数以上にのぼるというのです。

党市議団は、こうした制度の不備を指摘し、来年1月の制度実施までに、現行の500円負担で年齢拡大ができるよう予算の確保をもとめました。

党市議団は、新

事業名	総事業費
広島駅南口Bブロック市街地再開発	392億円
広島駅南口Cブロック市街地再開発	321億円
二葉の里区画整理事業	約52億円
広島駅自由通路及び北口再整備	約181億円
広島高速道路事業(関連公共事業含む) (内、高速5号線)	5,310億円 (1,124億円)
アストラムライン西広島駅延伸	約570億円
広島駅南口広場再整備事業	約155億円

いかでるとしていた

包括外部監査の質疑をする

中原ひろみ 議員

(2月15日、本会議場)

A portrait of a woman with dark hair pulled back, wearing glasses, a black turtleneck, a grey blazer with a black lace collar, and a pearl necklace. She is standing behind a podium with two microphones. The background is a dark wood panel.

包括外部監査の質疑をする

中原ひろみ 議員

(2月15日、本会議場)

党市議団は、新

